

◎新・人間革命 暁光の章

「飛行機にしても、上昇する時には、抵抗も大きく揺れも激しい。だからといって、臆病になって、途中で引き返してしまえば、目的地に行くことはできません。しかし、上昇し続けていけば、やがて、安定飛行に入り、大空を悠々と進むことができる。御書には、『三障四魔と申す障いできたれば賢者はよろこび愚者は退く』（御書全集 1091 ページ・御書新版 1488 ページ）と仰せですが、私たちは、難を受け、魔と戦い、信心を貫くことによって、自身の宿命を転換し、堂々たる幸福境涯を開くことができます。いわば、難と戦うことこそ、自己の生命を磨き、境涯を高めゆく直道であり、人間革命のための飛躍台なんです。」

（『新・人間革命』第 11 巻 38 ページ）

◎勝利の経典『御書』に学ぶ 兵衛志殿御返事

大切なのは、三障四魔の捉え方です。「これは、自分が呼び起こした障魔だ！」と自覚することです。

一見、障魔から攻め込まれているように思うことがあるかもしれない。しかし本質は逆です。私たちが自ら勇んで成仏の峰に挑んだがゆえに、障魔が競い起こったのです。魔が競うのは、正法である証です。

（『勝利の経典「御書」に学ぶ 13』87 ページ）

◎わが愛する青年に贈る

青年が動き、叫べば、新時代の突破口が切り開かれる。
青年が成長し、躍動すれば、支部や地区に歓喜の波動が湧き起こる。
青年こそが、広布の勝利の決定打を放っていくのです。
永遠に「青年創価学会」であり、「世界青年学会」です。

（『わが愛する青年に贈る』78 ページ）